

登録コード	E8271400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究					担当教員	廣内 大助	
英文授業名	Graduation Study					副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ，2 5 Eカリ，2 4 Eカリ，2 3 Eカリ，2 2 Eカリ，2 1 Eカリ，2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	自然地理学について理解を深める	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	大学での学習・研究活動に不可欠な思考力、読解力、文章作成能力、ディスカッション及びプレゼンテーション能力等について、その基礎を習得する	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	4年生通年を通して，卒業論文作成のための指導を行う。							
(5)授業計画	自然地理学分野に関する卒業研究を希望するものに対して，卒業研究の作成に必要な調査，資料収集，分析手法および論文作成指導を行う。 毎週順番に進捗報告を行う。 最終授業の際にアンケートを実施する。							
(6)成績評価の方法	・卒業論文（60％）、取り組みの過程（20％）、最終発表会または報告会（20％）によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	＜社会科教育コース卒業論文評価基準＞（コース共通） 1．先行研究を踏まえているか（検索、収集、理解など） 2．研究方法は適切か（データ収集・分析、フィールド、文献（論文、史料、資料）の扱い方など） 3．独自性があるか（テーマ、問題設定、視点、発見、考察など） 4．論旨は明確か（論理性、表現など） 5．形式は整っているか（構成、分量、誤字・脱字、注、文献リストなど） 6．研究倫理は守られているか（合法性、引用ルール、コピー禁止など）							
(8)事前事後学習の内容	適切な調査課題の設定のために、ゼミでのアドバイスや自己学習に沿って関連する書籍や学術雑誌を精読すること。卒論作成のために、補助データの取得や学術的意味を付加できるだけの研究資料を調べること。調査とまとめ、報告資料の作成など100日程度は必要。							
(9)履修上の注意	自然地理学分野で卒業論文を作成する意欲を持つもの							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	随時(M419研究室)							
【教科書】	特になし							
【参考文献】	特になし							